

情報電子工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究者および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第10回科学技術におけるロボット教育シンポジウム
演題名	ビニールハウス内での農薬散布による健康被害を防ぐロボットの設計と開発
発表者	○尾崎慶悟（帝京大学機械・精密システム工学科2年）、 <u>波江野勉</u> 、 <u>高木基樹</u> 、 <u>大森康司</u> 、 <u>蓮田裕一</u>
内容	ハウス内で農薬中毒による被害が毎年発生しており、早急に農薬散布の無人化が必要である。特に、イチゴの生産量が多い栃木県の農家からハウス内での農薬散布の無人化・自動化への要望が高まっていることもあり、ハウス内での実用化に向けてイチゴ農家との連携を保ちながら、開発を進めている。今後は、webカメラを用いてロボットの移動と噴射の制御が可能になるように開発を進め、農家の方の健康被害を減らし、安全に農作業が出来るように実用化を目指している。
関連画像	